

令和元年度 3月の新着図書のご案内

分類	書籍名	著者	出版社
女性学・ジェンダー	① 私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない あなたには、自分を守る義務がある。自分を守るとは、口をひらき、声を上げることからはじまる…女性が「我慢し続けられない」ための、日常会話のマニュアル書。	イ・ミンギョン	タバックス
女性学・ジェンダー	② 女性の生きづらさ その痛みを語る (こころの科学増刊) 女性として生きる中で出会う困難や違和感を、家族・当事者・社会・性別というさまざまな位相から語りつくす。	信田 さよ子(編)ほか	日本評論社
男性学・男性の生き方	③ 男子が10代のうちに考えておきたいこと 女に女の生きづらさがあるのと同様、男にも「男らしくあれ」という見えない圧力からくる生きづらさがある。捨ててもいい「男らしさ」もあるのでは。	田中 俊之	岩波ジュニア新書
女性と社会	④ 足をどかしてくれませんか。メディアは女たちの声を届けているか 男性中心に作られるジャーナリズムの「ふつう」は社会の実像とズレている。女性の「ふつう」、マイノリティの「ふつう」、〈みんな〉が心地よい表現は。	林 香里(編)ほか	
女性と社会	⑤ WORK DESIGN 行動経済学でジェンダー格差を克服する オーケストラの女性演奏家の割合を7倍以上に増やしたのは、オーディション会場に“1枚のカーテン”を持ち込むという実にシンプルな「行動デザイン」だった。	イリス・ボネット	NTT出版
女性と社会	⑥ 呪いの言葉の解きかた 「嫌なら辞めちゃえば?」「母親なんだからしっかり」…思考の枠組みを縛ろうとする「呪いの言葉」。そんな呪縛の外に出よう。のびやかに呼吸ができる場所に。	上西 充子	晶文社
結婚・家庭	⑦ 2人で理想の未来を叶えていく 夫を最強のパートナーにする方法 「夫を立てる妻」はもう古い。自立していながら愛され、尊敬される妻が夫をやる気にさせる。深いコミュニケーションを取り、強いパートナーシップを築く方法は。	ヒロコ・グレース	大和書房
結婚・家庭	⑧ やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。 家事なんて無限にある。完璧じゃなくていい! 家事をがんばる全ての人に贈る、読むだけで心が楽になる1冊。「家事は女の仕事」なんて時代はもう終わった…	梅田 悟司	サンマーク出版
結婚・家庭	⑨ 虐待・親にもケアを 生きる力をとりもどす MY TREE プログラム 子ども虐待の解決に不可欠な、親の回復。一人悩み苦しんできた親たちが、生きる力をとりもどした自分を語る言葉と絵が、感動を呼ぶ。	森田 ゆり(編著)	築地書館
労働・キャリア	⑩ 働くわたし どうやって今の仕事に辿り着いたのか。どんなふうにいるのか。様々な職業の20代から80代までの働く女性14人が、仕事について語るインタビュー集。	本の雑誌編集部(編)	本の雑誌社
性・からだ	⑪ まちかど保健室によろこそ 〈川中島の保健室〉ものがたり 養護教諭として40年勤めた後、長野市川中島の自宅に“なんでも話してホッとできる保健室”を開設している白澤さん。10年間の取り組みをまとめた著書。	白澤 章子	かもがわ出版
自己啓発	⑫ 鴻上尚史のほがらか人生相談 息苦しい「世間」を楽に生きる処方箋 「神回答!」と毎回大反響の連載、待望の書籍化。「観念的ではなく、理想論でもなく、精神論だけでもなく、具体的で実行可能な、だけど小さな」アドバイス。	鴻上 尚史	朝日新聞出版
絵本	⑬ けっこんしようよ ドレミファえんのたちつてとっこ 「わたしけっこんすることにしたの」ちこちゃんはぬいぐるみのくまと、とっこちゃんは大好きなはるな先生と、たあ君は1人で!「ころんちゃんはどうするの?」	新沢 としひこ・今井 弓子	岩崎書店